

# 地球にやさしく生きよう

～環境アドバイザーから学ぶ～

<b>校種・学年</b>	小学校 第5学年	<b>教科等</b>	総合的な学習の時間 「地球にやさしく生きよう」
<b>時間・学期(月)</b>	20時間・2学期(9～12月)	<b>副読本</b>	P7「地球はもっと暖くなる!?!」
<b>準備等</b>	映像資料・写真資料等、給食献立表、模造紙、専門家の招聘		

## 1 わらい

地球温暖化についての理解を図り、自分たちの生活でできることについて考え、実践する態度を養う。

## 2 伸ばしたい資質・能力

- 仲間と協力して調べようとする態度
- 様々な情報を活用して、自らの課題を解決する力
- 自分が伝えたいことを表現する力

## 3 指導計画(全20時間)

時間	主な学習活動・内容等
2	○ 「ふれる」 環境問題について関心をもつ。
6	○ 「つかむ」 電気、水、樹木などを調べ、新たな課題をつかむ。
6	○ 「調べる・まとめる」 課題を設定し、調べたことを発表する。
6	○ 「つなげる・いかす」 自分たちのできることを考え、実践につなげる。

## 4 本時の学習指導(本時 5/20)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
10	○ 物を作るためには化石燃料を使って二酸化炭素を排出していることを知る。	★P7「地球はもっと暖くなる!?!」 ○ 給食献立表から産地からどのように届くのかを調べ、考えさせる。
30	○ 給食の食材を揃えるために二酸化炭素が排出されているかを確認する。 ・個人やグループでの確認 ・全体の話合い	
5	○ 本時を振り返り、環境にやさしい生活について次時に考えることを知る。	



○ 模造紙とマジックを班ごとに用意する。

5 他教科等とのつながり	6 社会とのつながり
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5年生社会「これからの食料生産とわたしたち」5「食べて元気に」</li> <li>○ 6年生理科「生物と環境」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境アドバイザーの招聘</li> <li>○ 家庭や地域の方との交流</li> </ul>
7 おすすめのポイント（さらに、効果アップ！）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調べたことや実際に取り組みたいことを記録に残すことで、他学年に活用できる。</li> <li>○ 自分の考えが実生活と結びついているかを「エコライフデー」の取組で確認できるとよい。</li> </ul>	